

しんあい

季刊

2001年(平成13年)7月10日発行 第44号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人 多摩同胞会

所在地 東京都府中市武蔵台1-10

〒183-0042

TEL 042-366-0080




◀ ポピーの花言葉は“感謝”。今日の天気
に感謝。満開のポピーに感謝。
(緑苑バスハイク 昭和記念公園にて)



見て下さい、この満足そうな二人を。満面
の笑顔の理由は咲きほこる桜のせいばかり
ではないようですね。おいしい花見弁当と
花見酒とそれからそれから、お母さんとい
っしょだから……
(さつき寮 お花見 哲学堂公園にて)


介護に関するご相談は無料ダイヤルで!

- 泉苑在宅介護支援センター

 0120-6540-24

老後支援24時間

- あさひ苑在宅介護支援センター

 0120-2942-24

福祉にっこり24時間

特集

- 介護保険を考えるパート15
- 新入職員紹介
- 施設だより テーマ“お部屋”

介護保険制度がスタートしてようやく1年が経ちました。今まで福祉にかかわりを持たなかった方も新たにサービスを利用したり、認定調査ではじめて援助が必要なひとり暮らしの方に会ったり、プラス面もありますが、制度上の問題は山積みしています。
 在宅のサービス利用状況は調査の結果、利用できる上限の43% (全国平均) ということです。一方、在宅サービスの低迷に比べ、施設への入所希望者が急増し、多くの方が待機されています。また利用料や保険料の軽減を実施している自治体、実施していない自治体など地域によって様々な差が生じていること等々は今後の課題です。
 6ヶ月ごとに調査や意見書を繰り返す更新手続きも利用者やご家族から「一年でもよいのでは」という声が広がり、更新後の有効期間が一年間になる方も多くなりました。

手続きや給付管理も細かいことで行き違いが生じ易く、自治体や事業者にとっては混乱の中、なんとか利用者のみなさまへご迷惑をかけぬようにと過ごしてまいりました。

下記に示す給付差も今後改正すべき課題の1つです。
 認定審査において、介護度を2にするか3にするかについて時間をかけ真剣な議論の上決定しますが、在宅で介護度5の方より、病院で介護度1の方の給付額が多いという給付差は公平性という点からも疑問が残ります。要介護認定は給付の公平性のために実施されているのです。



給付を受ける場所によって異なる保険給付額の差

給付額(万円)	5	20	25	30	35	40	別枠
在宅 (上限額)	支 (6.15)	介1 (16.58) 介2 (19.48)	介3 (26.75)	介4 (30.60)	介5 (35.83)		別に居宅療養管理指導料と福祉用具貸与は保険給付される
グループホーム (痴呆対応型 共同生活介護費)			介1 (24.60) 介2 (25.09) 介3 (25.58) 介4 (26.00) 介5 (26.58)				家賃/食費/その他の日常生活費は利用者の自己負担
有料老人ホーム (特定施設入所者生活介護費)	支 (7.23)	介1 (16.69)	介2 (18.73) 介3 (20.77)	介4 (22.81) 介5 (24.88)			
特別養護老人ホーム (介護福祉施設サービス費)			介1 (24.21) 介2 (25.58)	介3 (26.91) 介4 (28.28)	介5 (29.62)		別に食事提供費は保険給付食事代、日常生活費などは利用者負担 特別養護老人ホームの場合、入所中に入院、退院することもある。このときには医療保険の適用となり、7日間以上の入院の場合は、介護保険の給付はなく入院後3ヶ月は無報酬で退院を待つことを義務づけられている。
老人保健施設 (介護保険施設サービス費)				介1 (26.76) 介2 (28.28)	介3 (29.80) 介4 (31.32) 介5 (32.85)		
療養型病床群 (介護療養施設サービス費)					介1 (36.28) 介2 (37.68)	介3 (39.08) 介4 (40.48) 介5 (41.88)	

※在宅以外は介護報酬単価(日額)×365日÷12ヶ月で算出した。 ※2 支：要支援 介1：要介護1 介2：要介護2 介3：要介護3 介4：要介護4 介5：要介護5 ※3 ()内の数字は万円単位

グループホームや有料老人ホームは家賃、食費、その他生活に必要なすべての経費は自己負担になり、介護サービスに対して、介護保険からの給付があります。
 特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養施設は施設サービスとして、介護サービスのみならず総体的な経費が介護保険から給付されます (積算根拠は明らかにされていません)。
 そのためこのような給付差が生じています。介護度の認定は本人の心身の状態に限定してサービスの必要度をはかるといふことならば、給付額はどこで受けても一定でなければ、認定の公平性も半減するのではないのでしょうか。
 ちなみに制度上は在宅で生活するか、有料老人ホームあるいは特別養護老人ホームで生活するかは本人の選択の自由です。そのため特別養護老人ホームなどに入所希望が急増しているという面もあります。

提案 — みなさまはいかがお考えになりますか —

1. 給付額の差は介護度の差のみにする (どこにいても同一介護度は同一給付額)
2. 医療サービス (医師の医療行為) は医療保険で対応する
3. 家事、食事など生活支援が必要な方には福祉サービスで地域ごとに対応する
4. 介護予防、生きがい活動なども福祉サービスで地域ごとに対応する
5. 今まで特別養護老人ホームが果たしてきた住居や生活の保障は、地域ごとに自治体による委託事業でベッドを確保し低所得者や高齢者のみ世帯のいざというときの安全ネットを確保する。自己負担が可能な人は住居や生活にかかる居住費用は自己負担とする



高校の時に少し病気をしたのがきっかけです。自分の体・精神が弱くなって初めて『痛み』が分かったような気がします。それから福祉の短大に入り、勉強したからには福祉の現場で働きたいというわけです。



泉苑介護員
清水絵梨香

高校生の頃にインスタントシニア体験（販売機のジュースが買えなかったんです！）をした事がきっかけとなり、老人福祉に興味を持つようになりました。



あさひ苑介護員
島田理絵子

祖父の自宅介護を経て、お老寄りとそのご家族の生活のお手伝いが少しでもできればと、この職を選びました。



緑苑介護員
野澤真紀子

私の福祉との出会いは、地元の特養での特浴のアルバイトでした。介助後のお年寄りの笑顔は今でも覚えています。保育と福祉、どちらにするか悩んだ末、その笑顔をもう一度見たくて福祉の道を選びました。



泉苑介護員
遠藤圭典

私が福祉の仕事を選んだ理由は、笑顔を見るのが好きで、人と接する仕事をしたかった事と、あさひ苑でパートとして働いてみて楽しかった事の2つです。



あさひ苑介護員
高橋友貴

祖父が寝たきりであった頃、祖母や母の介護を手伝ったことがきっかけで、福祉に興味を持ち将来福祉に携わった仕事をしたいと思い介護職に就きました。



あさひ苑介護員
鈴木淳子

こんにちは。私は『食は人を幸せに出来る』と考えており、そのなかで食事を通して、より多くの幸せを利用者の方に、感じてもらいたいと思いました。よろしくをお願いします。



あさひ苑調理員
高橋慶子

東京福祉専門学校を卒業しました小林知子です。お年寄りやと接する事が好きなので福祉を選びました。利用者の方から色々学びたいです。



緑苑介護員
小林知子

中学生、高校生の頃に参加したボランティア活動や専門学校の頃の実習を通して「老人と接する仕事をしたい」「介護の仕事に就きたい」と実感し福祉の仕事を選びました。



泉苑介護員
海野亜妃子

新人の田口です。約一年程祖父母の介護をした時に、自分らしく過ごせる環境を提供できる介護者が必要だと思い決意しました。



緑苑介護員
田口裕香

私は、亡くなった祖母に何もしてあげられませんでした。その思いを他の利用者の方に生かしたいためです。



緑苑介護員
宮川朋弘

私が福祉の仕事を選んだ理由は、祖父の死が原因でした。自分の無力に後悔し、介護福祉士をめざしました。みな様の役に立てるようになりたいと思います。



泉苑介護員
湊谷結香

自分の生涯の仕事と希望し、入職いたしました。技術は実践で培っていかねばなりません、ご利用者の歌や話が理解できる年齢である事に喜びを感じています。



泉苑介護員
井上陽子

私は子どもが大好きで、子どもたちと関わることができ、少しでも役に立つことができたらと思い、少年指導員という仕事を、選ばせていただきました。



白鳥寮
少年指導員
樋口志津子

初めまして、私は食べる事が好きで、利用者の方において楽しい食事を送っていただければ、あさひ苑で頑張りたいと思いました。よろしくをお願いします。



あさひ苑調理員
井垣貴子

はじめまして

平成13年度新人紹介

パワー溢れる皆さんの御紹介も兼ね、社会福祉を志した意気込みなどを伺いました。

私は身内の死をきっかけに、「誰かに必要とされ喜んでもらえる仕事したい」と思い、福祉の仕事を選びました。大勢の方と接し、大きく成長していきたいと思っています。



泉苑介護員
岡田菜々

「福祉」は、最も人と人が信頼し合う事の必要な仕事だと思います。これは難しい事ですが、逆にやりがいのある事でもあると思います。日々、多くの事を学び得られる様になりたいと思います。



泉苑介護員
滝 幸恵

私は、友人の紹介で介護保険ソフトの入力のバイトに、あさひ苑に就いたのが始まりです。その後、泉苑に移り、ここで自分の力を発揮したいと思いました。



泉苑事務員
宗澤 章

高校の仏教の授業で命の尊さや福祉に関する事を学び興味を持ちました。大学で実習やボランティアを経験し、現場で働いてみたいと思いました。



あさひ苑介護員
平松美幸

人が生きていく上で欠かせないものが食事なので、その大切な食事を作る中で様々な事を学び皆様に健康な日々を送っていただきたいと思います。



あさひ苑調理員
沢田 陽

高校生の時、母の知人に福祉の仕事をしてる人がいて、その時自分も福祉に興味があり、その人の紹介で、手話を習ったりボランティアをするようになり、その後、進路を決める時、福祉というのを仕事としてやってみてみたいと思ったからです。



あさひ苑介護員
長谷川真司

私が福祉の仕事を選んだ理由は高校の時にボランティアをして福祉に興味を持ち、とてもやりがいのある仕事であり自分に合っているのではないかと思ったからです。



泉苑介護員
原奈緒美

私はガールスカウトを通して経験したボランティア活動や、自分自身、体を動かして働くほうが性に合っていると思ったことから選びました。頑張り続けたいと思います。



泉苑介護員
鈴木裕子

私にとって今まで携わることの少なかった福祉ですが、サービスタウンの事務員として従事することにより、視野を広めたく思い、多摩同胞会の仕事を選びました。



泉苑事務員
野崎潤美

三宅島にある施設「三宅島あじさいの里」で学生時代からボランティア活動をしていて、利用者の方々や地域の人々とのふれあう事の大切さを知ったからです。



あさひ苑介護員
平川公一

実習先の職員の間でも楽しそうに働いている姿に、ひきこまれるように福祉の仕事につきました。笑顔と感性を大事にしたいと思います。



さつき寮
母子指導員
杉野光代

短大時に福祉の授業を受講し、その先生の考え方に憧れ福祉を勉強してみようと思い編入学しました。また、高齢者の方と一緒に過ごす事が好きだからです。



あさひ苑介護員
佐藤仁美

施設だより ——— テーマ

お部屋

今回は「お部屋」について各施設からいろいろなお話しを集めてみました。

※このコーナーは、毎号テーマを変えて特集します。

しらとり



楽しい我が家

「狭いながらも楽しい我が家」とよく言いますが、白鳥の利用者も限られたスペースの中で色々と工夫を凝らしているようです。

まずは収納!!

着られなくなった洋服や使わなくなった雑貨などは「もしかしたら、また…」と後ろ髪を引かれながらも、様々な方法で処分している人が多いようです。他の利用者に洋服や家具を譲るなどして上手にリサイクルし、できるだけ物を増やさないようにしている人もいます。

お部屋を見ると、その人の趣味がなんとなく分かりますが、20世帯あれば20通りの部屋の雰囲気があると思います。小さい子どものいる家は、子どもの写真やキャラクターのカレンダー、ぬいぐるみを飾り楽しい雰囲気に、小中学生や男の子のいる家は全体的にさっぱりとした雰囲気に。色使いも赤やピンクの可愛いらしい色調から青や緑などの落ち着いた色調まで様々です。

部屋の中を整理整頓しておくことも大切ですが、やはり一番は自分にとって家族にとっても、くつろげる場所であるということだと思います。みなさんもそうだと思いますが、外での自分と家での自分は結構違いますよね。「子どもがいるから、家に帰っても気が抜けない」と言う方もいるかも知れませんが、それでも子どもを早く寝かせて、その後に、自分の好きな事をしたり、同じ部屋の中でもソファなどを置いて、ここは自分の場所と決めつつういだりと皆さん色々と工夫をして、家族それぞれが部屋での一時を過ごしているようです。

屋外での思い出作りも素敵ですが、自分の家の中での思い出(会話だったりケンカだったり…)も案外、楽しい?

白鳥寮での居室が、そんな「楽しい我が家」であればいいなと思います。

(山口 葉子)

さつき

工夫次第で快適な空間

さつき寮の居室は6畳・6畳の1DKの居室が12室、6畳の1Kの居室が4室、4畳半の1Kの居室が4室で合計20室あります。お風呂は施設に1つだけなので各世帯、時間を見計らって共同で使用しています。又、トイレも各階ごとに共同です。

4畳半という狭い居室で生活に必要な荷物と母と子の生活は様々な思いを抱えて、迷って、悩んで入寮してきた方にとって本当に気持ちが休まる空間となるのか、新しく入寮する方を案内しながら、いつも切なく感じます。せめてお風呂が居室についていれば気兼ねなく手足をゆったりのばしてリラックスできるのに…。申し訳なく思っている職員に対して、入寮してくるお母さんや子ども達は皆とても明るくたくましい!?!?のです。

狭くてもその空間を“自分たちのお城”のように、家具の置き場所を工夫し、かわいらしい雑貨を並べてみたり、色を統一させてみたり、押し入れだって“見せる収納”でおしゃれに変身! 知恵をしばればいくらでも素敵な空間になるのです。

また共同風呂で“ハダカにつき合い” = “心の触れ合い”もはかれるようで“共同”のメリットもあります。

母子生活支援施設は一生住み続ける所ではなく、通過施設ではありますが、この「さつき寮」という古くて狭い!?!?施設でも皆がゆったり過ごす時間が持てるよう壁をペンキ塗りしたり、掃除をして新しい入寮者を待っているのです。

(山本美由紀)

きずな

東京都 (本当に…!?)

網代ホームきずな

平成八年に改築工事を行い、はや六年…。網代ホームきずなは、山と川とに囲まれて東京都とは思えないような自然の中に建っています。

現在、居室は40室。六畳一間の1DKが17室、六畳二間の2DKが23室あります。

二棟ある居住棟のうち、A棟は共有の中廊下をはさんで、居室とサニタリー(トイレと浴室)に分かれています。小さな子どもが「おしっこ〜!」なんて叫んでも…。まず居室のドアを開けて共有の中廊下へ出て、それからサニタリーのドアを開け中に入り、さらにトイレのドアを開けて…としないといけません。なので「あ〜あ…。」なんて間にあわないこともしばしばなんです。

B棟は共有の外廊下から各居室へ入るようになっています。長一い廊下に、春は桜の花びら、夏はカブト虫やセミ、秋には落ち葉、冬になると雪が舞い込んできます。自然の中にいるんだなあと感じる事ができる場所のひとつです。

各居室には冷暖房・内線電話・浴室・トイレが完備されていてとても快適! 押し入れも大きく収納もばっちりです。ベランダではお花を育てたり、夜には星空(これがまたスゴいんです!)を見上げたり、各自がそれぞれの生活を楽しんでいるようです。

(松崎美貴子)

緑苑



個室での暮らし

我、信愛寮には御利用者が、50名いらっしゃいますが居室は全て個室となっていて50室あり、もちろん各居室にトイレ、洗面所が備わっています。

引越しをする前の信愛寮では2人部屋がありました。個人のプライバシーが守られています。その為、職員としても気が抜けません。例えば急ぎの用があり、いきなり扉を開けようものなら、中から「ちょっと! ノックぐらいしなさいヨ!!」と勢よく怒られてしまいます。部屋というより、個人の「家」が50戸ある建物といった感じでしょう。

50名の御利用者は個性的で、50人十色、様々な暮らし方をされています。

御自分で絵を描いて、壁に何枚も飾っている方もいれば、趣味の花や手芸のものをたくさんおいている方もおられます。それとは逆に物がなく「ガラン」としている部屋も中にはあります。居室からハーモニカの音色が聞こえてきたり、歌が聞こえてきたり、その人その人が自由な時間を過ごされ御自分の生活空間がある部屋になっています。中には足のふみ場もない部屋も…。

苑では、防災上や急変時の事を考え、安全面には特に気を配っています。また隣の部屋とはドアでつながっており、自由に行き来ができるようになっています。

こうしたプライバシーが守れる個室の生活は、御利用者の方々に大変喜ばれております。

(青木 祐明)

あさひ苑



和室もございます

特別養護老人ホームあさひ苑は3階建てで、近隣には調布飛行場や他の福祉施設があります。最近では外語大学や東京スタジアムができ、静かだった福祉ゾーンも活気を見せています。

あさひ苑は、1階がデイサービスの活動室で、2階がホームとショーとステイ、3階がホームのみとなっています。ホームのお部屋は、1人部屋と2人部屋と4人部屋があり、主に4人部屋が多いです。各お部屋にトイレが1つ付いています。そしてお1人に1つずつタンスと床頭台があります。

ほとんどの方がベッドをご利用されていますが、その方の希望や身体状況に応じて、畳の上にお布団という方もいらっしゃいます。

お部屋の壁には、ご家族の方々と一緒に撮った写真やご本人の若い頃の写真が飾られていたり、お花が生けてあったり、季節感を出す為に職員が画用紙に絵を書いたポスターが貼ってあったりします。

あさひ苑のお部屋は、ほとんどが北側と南側にある為、北向きのお部屋の方々は、夏は涼しく冬はもっと涼しく、残念なことに日の差し込む時間が短いです。南向きのお部屋の方々は、今の時期など天気の良い日はポカポカと暖かくとても良いのですが、夏は暑くて暑くて…という感じです。

又、お部屋によっては窓から桜の木が見え、春は絶好のお花見席となります。

各お部屋ともそれぞれに良い所と悪い所があるように思います。ちなみに、お部屋は毎日職員が掃除をしていますので、きれいなはずですが…。



泉苑

四季の風情を楽しむ部屋

泉苑ホームの居室には1人部屋から4人部屋の4種類があり、主に多くは4人部屋になります。居室内にはそれぞれの御利用者にはベッド、タンス、床頭台、消灯ナースコールがあり、共用に洗面台、トイレが1ヶ所ずつあります。

これだけではさびしい気もしますが音楽を聞くための設備やTVは共用の娯楽室があり、そちらで他の御利用者の方と楽しめます。

あるお部屋の窓からは季節の便りを知らせてくれるかのように春にはみごとな桜が見え、道のむこうの住宅からはこいのぼり、夏には七夕の笹、秋にはきれいに色付いた葉っぱ、冬には白くて冷たそうな雪などが見られます。

時折聞こえてくる子供達の遊んでいる声が、居室で過ごされる御利用者の笑顔を誘っています。

(法村江美子)

ようこそ230号室へ

ショートステイの居室は、4人部屋が3つ、個室が3つの15名が在籍できます。日々の利用者の出入りがあることから、男女の比率もかわります。その時のために230号室は、パーティションが設置されており、4人部屋から2人部屋が出来上がりやすい。日中は、パーティションを取りはらい、ある時は利用者の皆様の茶飲み場になり、楽しそうな話し声が聞こえてきます。そしてある時は、歌集をひろげ昔の歌を歌ったり、ゲーム(風船バレー・輪投げなど)をしたりとレクリエーションの場になります。部屋の窓から見る景色は、春にはこびしや山桜が、秋には赤や黄に染った紅葉を楽しむ事が出来ます。230号室を利用するメンバーによって一日一日の時間の流れや雰囲気が全く違っており、職員もそのような空気を楽しんでいます。

(伊与田牧子)

ボランティア活動紹介

泉苑

泉苑のデイサービスを支えて頂いているボランティアさんを紹介いたします。

ボランティアグループ「のぞみ」さんは、曜日ごとに2名ずつ来て下さっています。

主に作業やレクリエーション、苑外活動など御協力頂いています。利用者の皆さんに取り組み

やすい貝の根つけや牛乳パックを使った小物入れなどの作業を提供して下さい。職員が行き届かないところも「のぞみ」の皆さんに助けられ活動できていると感謝しております。

今後も御協力お願い致します。(佐々木美幸)



きずな

毎月偶数の土曜、又は日曜日の午前中、市内で学習塾を開いている島津先生が、主に中学生の学習指導ボランティアをして下さっています。平成6年、中学生が増えたことをきっかけに、アサヒタウンズでボランティアをお願いし、はや8年目、約40名余の子ども達がお世話に

なりました。学習面だけでなく、職員がなかなか手の届かないところも、学習指導をきっかけに、子ども達の様子を把握してアドバイスをして下さいます。少数体制での施設運営の中、職員とは別の立場での大人と信頼を得ています。今年も5人全員が高校生活をスタートしました。(職員も中学時代に島津先生のご指導があれば、もう少し成績アップが望めたかも)

(宮城 晋)

平成13年度季刊しんあい編集委員はあさひ苑 新居・小机・中島・金井 泉苑 伊与田・法村 緑苑 上野・栗原 きずな 松崎 しらとり 土屋 さつき 阿部 本部 椎名 の、以上12名が担当いたします。ご意見、ご感想をお待ちしております。

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称略)

青山幸子、青木章子、青木成江、赤田美恵子、赤林好子、浅井吉子、浅見スジ子、安喰としみ、阿部才千代、阿部美恵子、飯塚喜亥子、飯塚麻紀、池田信子、池本壽子、石井宏、石坂勝世、石川滋子、石森節子、市川祐希、出光王江、伊東富美子、猪野彩子、井上佐代子、井上宏子、井踏世津子、魚住仁恵、上沢美和子、上野玲子、上野和子、鶴澤シツ、江田廣子、遠藤みつよ、遠藤伊代、遠藤陽子、大田トク、小笠原道雄、小川健治、萩原八枝、萩野和子、小倉道子、小澤末子、尾崎ヨシ子、落合均、落合淑子、恩田猛、笠間豊子、梶田慶子、鹿島千重子、加藤衣子、加藤博子、神尾史郎、金澤富久子、川崎綾子、川崎和代、川出美恵子、菊池富美子、岸下美、北邑ヒデ子、城所栄子、木下えり子、木村幸子、草野美鈴、草野裕恵、久保倉由美、熊倉洋子、黒岩富美子、黒川佳子、黒澤貞子、元田良一、弦間まさ、小出由美子、河野トシヨ、香山弘

子、小河内京子、小島ユミ子、小島百合子、小須田まつ代、後藤寿枝、小林栄子、小林希代子、小林久恵、小林志野、今野幸子、紺野和子、後藤寿枝、斉藤栄子、斉藤孝子、佐伯ヨシ子、坂本文子、桜井澄江、桜山佐恵、佐藤なか子、佐藤むつ子、佐藤秋子、佐野田鶴子、三溝久枝、篠崎ひとみ、芝喜久子、島津弘子、嶋田深美、清水よね、下江美鈴、城田一伊、進藤サエ子、進藤理子、菅原芳子、菅谷剛、杉山シズ、鈴木嘉子、鈴木雅登、鈴木昌子、鈴木千代子、関若子、蘭部あさ、平艶子、平美枝子、高沢和子、高橋よう、高嵩米子、高野朱世、高野晴美、高野和也、竹松ふく、竹谷美知子、竹内カツ子、竹内ヤス子、竹内由美子、辰本ケイ子、田中久美子、田中翠、田村冬、辻新、辻村千枝子、津田朱実、土屋とき枝、角田翼、角田和歌子、徳永桃子、戸田美佳、刀根正吉、内藤綾子、奈須静江、永上貴美子、中下秀子、中島トシエ、

中島永子、中島八州子、永田真理、中野利子、長野信子、中村とく子、中村フサ子、永吉和子、西久保長子、西木操、能登倉さくら、橋本巖、長谷川宣子、働く婦人の会、鳩貝法三郎、花沢浩子、原貴美、原菊江、原田良子、羽山直子、土方梢、土方美智子、ひのきしの会、平山房子、平泉順子、平澤みどり、比留間寿美子、藤田裕子、藤原藍子、毒島久美子、古田久子、古戸育子、舟山聡子、法師入富子、堀口初江、丸山公恵、松川香津子、松沢通子、松田恵子、松野アイ、松村美千代、松木洋人、宮崎美知子、宮澤由紀枝、水野知恵、御手洗昭二、三輪孝子、村尾良子、毛利裕子、森口絹代、盛田光代、山内邦子、山上涼子、山川國男、山口タケル、山田ケイコ、山田繁子、山本千津子、友愛会、弓削田恵美子、吉井八重子、吉田トシ子、吉田ヒサ子、横田公子、横山勉、脇山令子、渡部恵美子、渡辺キク(平成12年10月〜平成13年4月)

御寄贈ありがとうございます(敬称略)

アコム、みる、コンサート物語 事務局、池田世津子、石坂由美子、市川幾久司、石森節子、稲葉富弥、内野滋雄、遠藤盛、青梅市役所事業部、岡部輝男、奥山隆久、加藤ふとん店、(株)エヌ・イー・オー、(株)オックスフォード・インターナショナル、金野たかね、キャノン(株)、キリンビール株式会社、劇団ひまわり、小泉典子、小柳長寿会(財)日本出版クラブ、産経新聞大阪新聞厚生文化事業団、浄土宗東京青年会、スターバックスコピーヒージャパン、鈴木ひろみ、鈴木芳子、竹中工務店、田中総造、田村正雄、長安寺石川隆信、テレビ朝日福祉文化事業団、寺崎静江、ドナルドマクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン、デン・フジタ財団、東穀協会、東京ジャーナリストクラブ、(株)東京三菱銀行、東京出版協同組合、東京善意銀行、東京都麹類協同組合、東京読売巨人軍、中田龍佑、長嶺ヤス子、ニッポン放送、西川富美子、西谷留美、

編集後記

『季刊しんあい』の創刊は昭和57年でした。それから19年たち今号44号で全カラーページにリニューアルいたしました。いかがでしょうか。(上野)